

Posto letto Diffuso a OBAMA

— 小浜西組 分散型シェアハウス構想 —

- 小浜西組の現状・課題分析 -



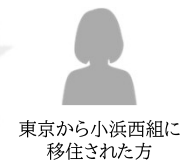
海と山に囲まれ歴史的な街並みと伝統が今も残る非常にポテンシャルの高い地域だが、お店や人通りは少なく空き家も増えている。単なる観光地化でない、小浜西組ならではの新たな賑わい作り施策が求められている。

- 現地ヒアリングによるリサーチ -

飲食店などお店が増えると良いが、お祭りなど地元のコミュニティや既にある暮らしを尊重したまちづくりが重要。



歴史ある小浜西組での古き良き暮らしがとて心地良い。若者や起業家など新しい人にもぜひ来てもらいたい。



小浜西組の歴史や暮らしと共存する、新たな賑わいを生み出すハード・ソフト両面での取り組みが必要

- ハード提案・コンセプト -



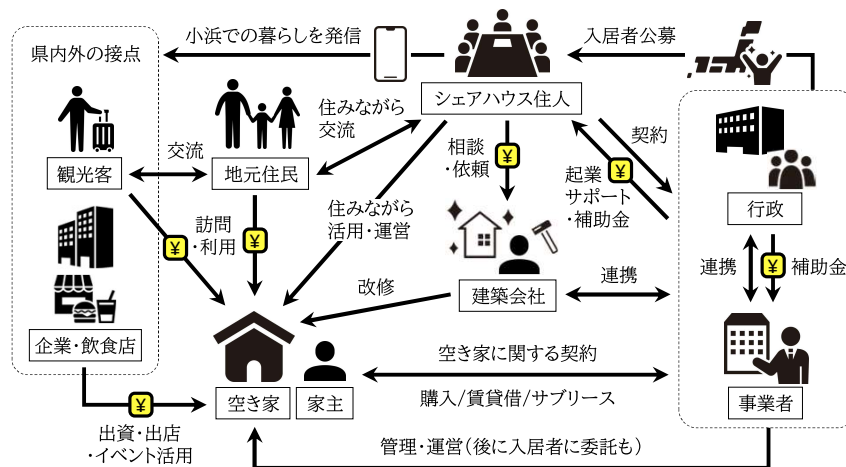
“Albergo Diffuso”
アルベルゴ・ディフーゾ
＝「分散型の宿」
「まち全体に泊まる」というイタリアで生まれた概念現在「小浜ステイ」で実践中。

既存施設とも連携する新たな概念をプラス



“Posto letto Diffuso”
ポスト・レット・ディフーゾ
＝「分散型シェアハウス」
「まち全体に住む」という概念で空き家にシェアハウスをはじめ暮らしに関する機能を点在させる。

- プロジェクトイメージ -



- ソフト提案・コンセプト -



地域に根付いた形で新たなヒトモノコトを受け入れる仕組み

伝統 × 革新
ある町で を起こす



シェアハウスの入居者には起業・副業・ビジネス立ち上げなどに意欲があり、お祭りなど地域のコミュニティにも積極的に参加する意思のあるメンバーを募る。

入居者たちは約2年間家賃補助や起業サポートなどを受けながら小浜西組のシェアハウスを拠点に生活し、地域と共に新たなモノコトを生み出すプロジェクトとする。

- プロジェクトタイムライン -

①準備フェーズ

数ヶ月～半年程度

意欲的なシェアハウス入居希望者を全国公募で決定、顔合わせや現地視察等と並行して各物件の平面プランの調整・改修を行う。

②入居期間：立ち上げフェーズ

1年間

1年間は基本的に家賃は無料とし、入居者たちは地元住民とも交流しながらシェアハウスで共に暮らし、自身のビジネスプランを構築する。

③入居期間：実行フェーズ

1年間

②の期間を経て、小浜西組を拠点とした入居者たちによる起業・開業、もしくはシェアハウスを活用したビジネス等を実行に移していく。

④展開フェーズ

その後

入居者たちによって始まった活動やビジネスの成果を、官民一体となり発展させ更なる空き家活用や企業・飲食店の誘致に繋げていく。

対象空き物件③④ 改修案

三丁町の平屋長屋と町屋 入居者達の活動を感じられると共に、まちを盛り上げていくアイコンとしての場所に

小浜西組の中で最も歴史的建築物が立ち並ぶ三丁町に佇む平屋長屋と町屋。通りから眺めると町屋はちょうどアイストップとなるため、この建物の歴史を尊重しつつも未来へ向けて革新を起こしていく拠点となる場所にできないかと考えた。2階建ての町屋はシェアハウスとして活用しつつも1階の一部を起業を志す入居者のためのオフィスとして、隣接する長屋はあえて業態を決めず、住民の交流や企業の活動を通して、その時々生まれるアイデアをカタチにし発信する場として小浜市を盛り上げていく場所を目指した。オフィスは道路側とすることで、まちに開き住民に活動が感じられ、そして建物裏の外部空間は隣地同士の庭を一体とし、井戸端会議のような何気ない交流が生まれることを意図した。

凡例

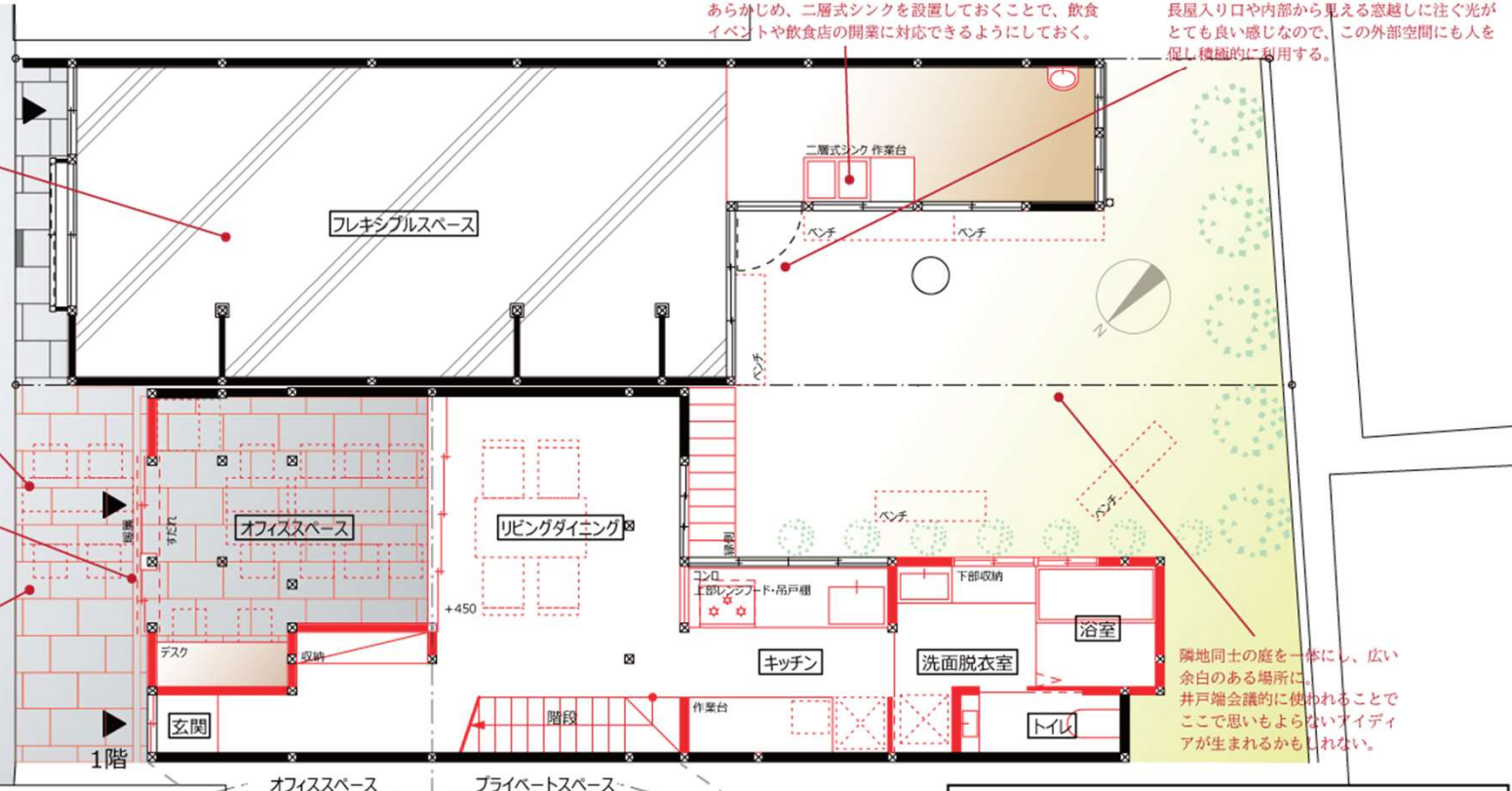


あえてそのままの状態とすることで、様々な使用目的や場面に对应できるようにする。いわば、その時その場で仮設的に空間が作られていく。そのためストックスペースとしても活用。
[イメージ⑧⑨⑩]

天気の良い夏は外にデスクを設置し、より活動が身近に感じられるように。なお、デスクなどは工務店と連携をとり廃材利用やコストダウンを図る。
[イメージ⑦]

まちに開くため開放的な外観とするが、景観配慮し暖簾やすだねなどを設け、より一体感のある外観とする。

三丁町通りの石畳をオフィス空間まで引き込む。近い素材とし素材のサイズをあわせ三丁町との一体感を図る。



あらかじめ、二層式シンクを設置しておくことで、飲食イベントや飲食店の開業に対応できるようにしておく。

長屋入り口や内部から見える窓越しに注ぐ光がとても良い感じなので、この外部空間にも人を促し積極的に利用する。

隣地同士の庭を一体にし、広い余白のある場所に、井戸端会議的に使われることでここで思いもよらないアイデアが生まれるかもしれない。

参考イメージ



アイストップとなる建物位置



⑦オフィスの活動が感じれる外観



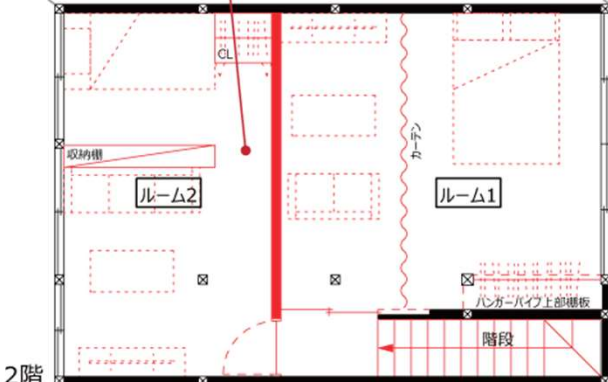
⑧フレキシブルに使用できる長屋



⑨交流イベントに使える

引用
 ⑦COLOCAL
 「さて、ここに集うのは誰？」古民家をリノベした山ノ家の新たなスタート。
 ⑧のとルネ
 自然素材の手作り洋服
 「chaque」(シャクエ)【中能登町】
 ⑨COLOCAL
 実家の空き家を大改修。店も人も集まる、まちに開かれた編集室〈四国食べる商店〉とは、仏生山まちぐるみ旅館 vol.5

起業者が住むことを想定し呉服屋のシェアハウスと差別化を図る。人数を絞りゆとりのある空間に。



古材利用と入居者による DIY
 本間取り図はモデルプランとし、入居者がDIY的に間取りを決められることを想定している。そのために地元の工務店との連携を取り入れることを提案する。またDIYなどの知識も得られるようにし、積極的な古材の利用も促す。



引用
 ⑩DREBUILDING CENTER JAPAN
 古道具店で、材木店